



舞

舞踏：岡佐和香

写真と書：祥洲



祥洲：解体された新しい書のカタチ -回-



祥洲：守破離









































祥洲：臨 颜真卿 送裴将军詩 / 一射百馬倒



岡 佐和香

舞踏家。舞踏を大野一雄・大野慶人、中嶋夏に師事。幼少よりバレエ・モダンバレエを踊る。1997年より舞踏家大野一雄らの指導の下、自己の内側から沸き起こるシャーマニックな舞踏を自在に表現。大野一雄「宇宙の花」(2000)、コペンハーゲンでの土方舞踏デモンストレーション(中嶋夏演出/2003)、「中嶋夏舞踏40周年記念公演」(2004)等に参加。

振付のみならず完全即興を強みとし、国内外の様々なイベントやアートフェスティバルに多数出演。芝居、生け花から剣舞まで、様々なスタイルを融合した独自のダンスが好評を得ている。また、ライブ・ミュージックに鋭敏な感覚で呼応し、一度として同じことのない即興パフォーマンスにも定評がある。

舞台の枠を超える野外イベントや映像作品にも参加。熊野本宮大社・法然院等、神社仏閣での奉納舞や、映画「愛の流刑地」(おわら風の盆踊り手)、TV「踊る大捜査線」(内田有紀さん中国剣舞指南・振付、剣舞師役)等に出演。2011年、築地本本願寺にて「ピンクリボン&震災チャリティイベント」総合プロデュース兼、舞踏公演「遊人存(UNIZON)」(題字/祥洲)を演出・出演。2012年、WNPを設立。「音・天然アロマ・光・身体表現」を極めたプロが集結。増上寺での民謡と舞踏のコラボレーションや創作舞踏作品「夢に咲く花」等を発表。五感やマインドを刺激し、健康維持増進にまで繋がる質の高い創作舞台や自然の中でのワークショップを開催している。2015年より古武術と舞の融合に向けて修行中。神社での奉納を通して活動を始めている。また大野一雄を敬愛する書家、祥洲の元で書を学ぶ。

祥 洲

6歳から正式に書を学び、立命館大学在学中の19歳で墨翔会を創設、書家活動を開始。後に書壇を離れ、フリーとなる。伝統書のみならず独自の墨美表現により、日中韓など五カ国共催「祥洲・先鋒墨美展」「祥洲の墨の世界」(ドイツなど)「黒龍江省美術館展」など企画個展、国内外での受賞多数。中国での国際展審査員なども務める。

小学校図画工作教科書「ゆめを広げて」収録、「伊勢神宮」「日光東照宮」奉納書、「メルセデス・ベンツ」「アディダス×EXILE/HIRO」などのCM作品、「NHK大河ドラマ/軍師官兵衛」「AKB48/シートサイン」などの題字、ドイツACTレーベル「Eric Schaefer/Kyoto mon Amour」のジャケット作品、イギリスBBC制作「DARKSIDE」(ピンクフロイド/狂気)タイトルや特典作品、NHKや民放(嵐にしやがれ等)のテレビ出演、更にデジタルアート、写真、映像などジャンルを越えて国際的に活動中。墨翔会主幹、墨集団翔Sho主幹、SHO Art-Office代表。



撮影:福田匠吾





データ

京都二条国際文化芸術交流会/京都場 KYOTOba 企画展
祥洲と墨集団翔Sho 代表作家展「書・墨・美 2017」

会期：2017年11月3日（金・祝日）～12月3日（日）

会場：京都場 kyoto-ba.jp

オープニング・パーティ：2017年11月3日 ゲスト：舞踏家 岡佐和香

撮影：2017年11月2日、会場内でのリハーサル

舞踏：岡 佐和香

写真/書作品/題字/デザイン/制作：祥洲

機材：FUJIFILM X-Pro2 + XF35mmF1.4 R / XF18-55mmF2.8-4 R LM OIS

FUJIFILM X100F

SONY α7 II + E10-18mmF4 OSS

撮影協力：京都場



京都二条国際文化芸術交流会 / 京都場 KYOTOba企画展
祥洲と墨集団翔Sho代表作家展「書・墨・美 2017」
祥洲 / 出展作品 & 会場風景



制作：祥洲 / SHO Art-Office



摄影：福田匠吾



舞

舞踏：岡佐和香

写真と書：祥洲

shoshu.jp

2017.12.18 発行

© 祥洲/Shoshu 2017

